第７号様式（第７条関係）

八王子市入札監理評議会　議事要旨（定例評議会）

開催日時及び場所	令和５年（２０２３年）８月８日（火）　９：３０～１１：００　八王子市役所　８０５会議室
出席評議員	谷垣評議員、直井評議員、奥評議員

抽出案件　（抽出期間：令和４年（２０２２年）１０月１日～令和５年（２０２３年）３月３１日）

区分		件数	通番	案件名	通番	案件名
工事	１　一般競争入札	１件	１－１	（仮称）給食センター（寺田）新築給排水衛生設備その他工事		
	２　指名競争入札	１件	２－１	市道元八王子250号線道路舗装工事		
	３　随意契約	１件	３－１	八王子市保健所土壌改良等工事		
委託業務	４　指名競争入札	１件	４－１	R5(2023)市議選　選挙人名簿抄本及び入場整理券等作成等業務委託		

	通番	質問等	回答等
抽出案件ごとの質疑	１－１	１　予定価格のうちの６割は厨房機器が占め、各業者で価格の差が生じないとのことたが、固定されない額が４割を占める中で、100%での入札をどのように分析しているのか。	１　本案件は、浄化設備の設置のために4メートル以上の穴を掘削する必要がある。そのため、通常の給排水衛生設備工事以上に、労働安全衛生にかかる管理経費の計上が必要であることから価格が落ちにくかったと考えられる。
		２　給食センターのような規模の大きい工事で１者入札が続くことについて、市はどのように考えているのか。	２　給食センターのような大規模な案件の場合、ＪＶで入札参加できる。しかし、中小企業にとって、大規模な案件では工期が長期に渡るため、その間技術者が拘束されることにより、当該技術者は他の工事に配置できなくなること。また、工事を継続していくうえで必要となる資金面の不安などから、入札参加しにくい状況であったと想定される。そのため、ＪＶを構成する要件の緩和を検討している。
	２－１	１　指名業者を７者とした理由は、工事ができる業者が７者しかいなかったということか。それとも、市が選定した業者が７者だったということか。	１　指名競争入札では、予定価格帯に応じて指名業者数が決まっている。今回は７者以上を指名する案件であったため、市が７者選定した。
	３－１	１　本来であれば、競争入札を実施しなければならない案件であったのか。	１　本来であれば、総合評価方式による一般競争入札の対象となる案件である。しかし、競争入札により他の事業者が受注した場合、およそ３か月しゅん工が遅れてしまうことになる。11月４・５日の日本遺産フェスティバルにおいて広場を活用する予定があり、他の者が受注した場合の３か月の遅れは、日本遺産フェスティバルに向けた準備に多大なる影響を生じさせるため、随意契約での発注とした。
		２　随意契約で発注することができる要件は当てはまっているのか。	２　随意契約ガイドラインに定めている随意契約によることができる場合として、地方自治法施行令第１６７条の２第１項第６号に該当する。
	４－１	１　業務１（選挙人名簿抄本の作成業務）と業務２（入場整理券の印刷・封入封緘業務）は、一括での発注でないといけないのか。	１　分割発注することは可能だが、異なる業者が受注した場合、各業者との委託事業にかかる調整が２倍の負担となるため、業務効率なども考慮に入れ、一括での発注としている。
抽出案件に関する意見等			

その他運用状況等

意見等を求める内容	
概要	
意見等	